

読書を通じて、今こそ「思考力」に磨きをかけよう

毎日、勉強や部活動、生徒会活動に頑張っているみなさんの中には、一生懸命頑張ってもなかなか結果が出ずに報われなかったり、自分では誠実に対応しているつもりでも人間関係がうまくいかなかったり、いまの進路で本当にいいのだろうかと迷ったりと、いろいろな悩みがあるでしょう。

そんな時に、これまでと違った視点で自分を見つめ直し、自分をよりよく知って、自分の今いる立ち位置を知ることができれば、これから自分がどう行動すべきかということについてもわかってくるように思います。そして、そのために必要な力こそ、「思考力」と言ってもいいのではないのでしょうか。

もしも、その力があれば、たとえ途中で行き詰まったとしても、諦めてしまったり、むやみに突っ走ってしまったりすることなく、試行錯誤しながらも自らに問いかけ、間違っていたとしても、自分なりによりよい答えを導き出すことができるでしょう。

新型コロナウイルスのパンデミック、物価高、温暖化、戦争、SNSによる誹謗中傷……。未曾有の事態は、まるで私たちの「思考力」をためしているようにも思えます。初めてのこれらの事態に直面したときに、もしも自分の頭で考えることができれば、ただデマを信じて不安になったり、パニックに陥ったりすることも少しは避けられるのではないのでしょうか？

今回、新しく購入した本の中にも、新しい発想を与えてくれるものがたくさんあります。ぜひ手にして、思考力・想像力を育て、恐れずに未来に突き進んでいってほしいと思います。

<p>未来を築く方程式 本当の貧困の話 をしよう 石井光太</p>	<p>あまからカルテット 植木麻子</p>	<p>痛みが消えていく 身体の使い「型」 伊藤新輔</p>	<p>聞く技術 CHIKUMA SHINSHO 5周年 聞かれることで、ひとは変わる。</p>	<p>第三次世界大戦はもう始まっている 大反響! 10万部突破 事態は本書の“予言”通りに進んでいる</p>
<p>日本は国民の7人に1人が貧困層。幸せをつかむために今知るべきこと。最底辺のリアルから始まる「新しい世界」のかたちを提案</p>	<p>野蛮な乙女らよ、青春の最終コーナーを突っ走れ! 彼女たちの勇気と友情があなたに元気を贈る。傑作ラブ・コメディ</p>	<p>立っているつもり、歩いているつもりでも、実際はきちんとできておらず、「型なし」の状態。「基本の型」を身につけることを提案</p>	<p>カウンセラーが教える、コミュニケーションの基本にして奥義とは。目の前で著者のお話を聴いているような心地で読める本</p>	<p>西側メディアの論調ばかりを信用しているのか? この戦争の真の要因は? ウクライナ問題が「世界戦争化」したのはなぜか?</p>

<p>新版・一流の頭脳 運動脳 BRAIN 67万部超! 歴史的ベストセラー!</p>	<p>疲れない脳をつくる生活習慣 石川善樹</p>	<p>孤獨なバツタが群れるとき 井見下々</p>	<p>山はさぞ美しい 羽根田治</p>	<p>キューの月 ケイト・ラッセル</p>
<p>『スマホ脳』著者アンデシュ・ハンセンによるベストセラー。スウェーデンで67万部超え。「世界一受けたい授業」出演、紹介</p>	<p>「疲れない」「だらけない」「怒らない」毎日を過ごすための次世代メンタルトレーニング。「マインドフルネス」入門の書</p>	<p>今、アフリカでサバクトビバッタと格闘しているバッタ博士の青年時代を綴った『バッタを倒しにアフリカへ』へと続く本</p>	<p>遭難取材を長年続ける著者が貴重な証言から、数多の恐怖が待ち受けるのに「それでも登る」と皆が言う、山の魅力がわかる本</p>	<p>ウクライナ・キューの月は、私たちが見上げている月と同じ月。世界的作家・ロダリーの絵本を、ウクライナ救援のために緊急出版</p>
<p>限りある時間の使い方 NYタイムズWSJ絶賛の全米ベストセラー! 15万部突破!</p>	<p>たぞがれ大食堂 坂井希久子</p>	<p>つぶやき養生 櫻井大典</p>	<p>人間免中 妙子</p>	<p>不安型愛着スタイル なぜ? 生きるための</p>
<p>古今の哲学、心理学、スピリチュアル思想を駆使し、ウィットに富んだ語り口で、時間と時間管理を実践的に、深く問い直す本</p>	<p>伝統ある百貨店に勤める美由起は、存続の危機に直面する食堂のマネージャーに。美味しい料理と奮闘が奇跡を起こす</p>	<p>国際中医専門員、日本中医薬研究会会員で漢方コンサルタントの著者が、中医学&漢方の知恵で不調の改善方法を提案</p>	<p>夫の借金と自殺、自身の病気と自殺未遂、AV女優他様々な職業・壮絶な人生を乗り越えそれでも愛し合うふたりの日々を描く</p>	<p>優しく献身的な一面とともに、自己犠牲が限界を超えると、心身の不調をきたす軽度の不安型愛着障害について詳しく解説</p>
<p>AIエンジニアの教科書 実務と知識がしっかりわかる教科書</p>	<p>気になる子の発達支援 発達支援</p>	<p>大好きの下町上 池谷裕二</p>	<p>寝る脳は風邪をひかない 池谷裕二</p>	<p>寝る脳は風邪をひかない 池谷裕二</p>
<p>AI エンジニアを目指す人を対象に、業務内容、労働環境、必要な知識、心構えなどについてわかりやすく解説した本</p>	<p>対応が難しいとされてきた子供へのサポートの仕方を長年研究実践してきた著者がその原理を公開した待望の本</p>	<p>「このライトノベルがすごい! 2023」単行本・ノベルズ部門第1位! 殿堂入り。シリーズ累計800万部突破</p>	<p>東京大学薬学部教授。脳の健康を探究し、多くの賞を受けた著者が、最先端の知見を社会に有意義に還元しようと考えた本</p>	<p>WEB 小説投稿サイト「小説家になろう」で連載開始。シリーズ累計2000万部超え。この世界で、もし自分なら何を感じるか?</p>

				
<p>先行き不透明な世界をどう生きていけば良いのか？自分の頭で考えるための知恵とユーモアが詰まったヤマザキマリの本</p>	<p>不安と不信が蔓延する社会で何を拠り所にすればよいか。自分らしく生きるためのヒントを『ハゲタカ』の真山仁さんが語る</p>	<p>コロナ禍にウクライナ侵攻、元首相銃殺、物価高に温暖化。一寸先の予測が困難な今著者の案内から現代を生き抜くヒントを</p>	<p>世界をつくる118元素を美しい製品の写真とともにビジュアル解説。馴染みのなかった元素もぐんと身近に感じられるはず</p>	<p>『歎異抄』の分かりやすい現代語訳と、詳しい解説を掲載。800年の時を超えて、親鸞聖人と弟子の対話が、生き生きと伝わる本</p>
				
<p>高校国語の定番中の定番教材「羅生門」を55の論点を立てて考察。多彩な「読み」が浮き彫りに。作品の魅力を堪能したい方へ</p>	<p>日本マナー・プロトコール協会理事長、NHK経営委員、株式会社吉野家社外取締役の著者監修による、暮らしの中のマナー解説</p>	<p>海のプラスチックはなぜ問題か？汚染の実態からマイクロプラスチックの影響まで、研究第一人者が、実態を語り提言する</p>	<p>『三千円の使いかた』が大反響の著者の、心震える感動作。70年からの、3世代の女達の家計簿から、大切なメッセージが届く</p>	<p>貧しい大家族で育った天使は、キャバ嬢時代に知り合った投資家の光子と再会。光子の指南で、極貧人生から抜け出せるか？</p>

《 第68回青少年読書感想文 兵庫県コンクール入賞作品 》

1年2組 篠田幸風「グレイソンから学んだこと」

書名* 『ぼくがスカートをはく日』(単行本)

原著* エイミ ポロンスキー 翻訳*西田佳子

出版社* 学研プラス 2018/7/31



「わたしはドアを開けて教室に入った」これは本作品の最後にある、私が最も印象に残った一文です。トランスジェンダーである主人公、十二歳の少年グレイソンの一人称はずっと「ぼく」でした。自分は男の子だけれどスカートを履きたい、本物の女の子になりたいという思いを誰にも打ち明けることなく隠して生きてきたグレイソンが、勇気を出して受けた演劇のオーディション。役は女神。つまり女の子の役です。誰もが不思議に思うだろうし、男の子が女の子の役をするなんて変だとクラ

スのみんなにからかわれるかもしれない。それでも自分の気持ちに正直に動いたグレイソンの思いと努力が実を結び、結果は合格。立ち足はかかる様々な困難から決して逃げることなく、自分らしく生きることを選んだグレイソンの強さがこの一文に全て詰まっています。

本作品に出会う前、私は町中で制服としてスラックスを履いている女子高校生を見かけたことがありました。けれど、男の子で制服としてスカートを履いている人を見かけたことがありません。この作品を読んでそのことを気づかされ、本当はグレイソンのようにスカートを履きたいと望む男の子だっているのではないかと思います。そのような人たちには、「ありのままの自分でいい」と声をかけてあげればいいと、私は考えていました。いえ、考えていたつもりでした。でも、よくよく考えてみると、否定的な言葉を投げかけたり、からかったりする人も必ずいると思います。実際にグレイソンの周りには、嫌味を言ってくる従兄弟や、気持ちを考えてくれないおばさん、悪口をぶつけてくるクラスメイトがいました。もし私が当事者だったら、きっとそのような人たちの目を恐れ、誰にも打ち明けることができずに生きていくと思います。しかし、少なからず守ってくれる友人や、力になってくれる先生が存在しました。グレイソンに対する周囲の対応にはそれぞれの“普通”が表れていて誰かが間違っていると言うことではないのかなと感じたほか、みんなが他者の生き方を受け入れるようになれば、もう少し生きやすい世の中になると感じました。

それから、私はグレイソンのおばさんの対応に少し苛立ちを覚えました。グレイソンを想ってのことだと言うことは分かりますが、血が繋がっていないとはいえ、一緒に暮らしてこれまで育ててくれた存在の人に本当の自分を知られた時、全否定されてしまうのは辛いはず。同時に、今の私の親が、私の気持ちや意見に対して決して否定をすることなく受け入れて、聞いてくれていることに気がつきました。このことがどれだけ幸せでありがたいことなのかを実感することができ、親にこの感謝の気持ちを伝えたいと思うことができました。

また、グレイソンに心無い言葉を投げつけてくる一部のクラスメイトを見て、学校がこんなにも生きにくく、残酷な場所だったのかと感じました。けれどその反面、そばにいて守ってくれた友人たちのような存在に巡り合うことができる素晴らしい場所であるとも感じました。グレイソンは、周りにいた先生や友人、友人のお母さんなどの、気持ちを肯定し、受け入れてくれた理解者と言える人たちに救われました。一歩前に踏み出すことはとても不安なことで、リスクもあり怖いことだと思います。そんな時に、近くに来てくれて寄り添ってくれる彼らのような理解者がいることは本人にとって救われることだと本作品を通じて知り、もしも私の周りの家族や友人がカミングアウトをした時、そのような理解者でありたいと強く思いました。自分がグレイソンの立場にいたらどう感じるだろうと、想像力を働かせることは、相手が生きやすい環境を作ることに繋がるのではないかと思います。これは、トランスジェンダーだけの話ではなく、今後の人生の様々な場面できっと役立つことだと思います。演劇に合格したグレイソンがたくさんの苦悩を乗り越えついに本番。大勢の前で女の子の役を演じ切った最後の場面は、その様子が目に浮かび涙が出そうになりました。女の子の役を演じるという方法で、自分の内に秘めてきた想いを、今まで隠してきた「女の子になりたい」という感情をさらけ出したグレイソンの堂々たる姿に心を動かされました。

私が本作品を読み終えて感じた最終的な感想は、もっとみんながお互いにもつ個性や長所、短所を理解し合うことでグレイソンのような辛い想いをしなければならぬ人が1人でもいなくなればいい。そう思いました。他にも、相手の立場で考えるという想像力を働かせ、自分自身に何ができるかと考えることや、理解してくれる人たちの大切さ、ありがたさのほか、そんな関係を築くことの素晴らしさなど、多くの大切なことをグレイソンたちから学ぶことができました。私はこれから、これらの学んだことを活かしてグレイソンのように自分の心と素直に向き合い、友人たちのように他者を受け入れ、理解してあげられる存在になりたいです。そう思えるきっかけとなった本作品に出会えてよかったです。

🌟2023年本屋大賞ノミネート10作品が決定しました。詳しくは、2月号で紹介しますが、すでに購入し、借りることができるように準備しています。貸出準備ができましたら、プリントを掲示してお知らせしますから、ぜひ図書館に足を運んで、今、話題の本を手にとって読んでみてください。